

熊本学園大学 外国語学部 第12号

英米学科 GAZETTE

平成30年10月
発行・編集
熊本学園大学 外国語学部

巻頭言

林 日出男（教授／外国語習得論・英語教育）

外国語と母国語の関係について、Cummins という研究者の Iceberg Hypothesis というものがある。表面上は外国語能力と母国語の力とは別々のように見えるが、底辺部分（氷河の海面下の部分）に、両言語能力に共通する基本的言語能力のようなものがある、という主張である。日本語で話すことが苦手な人は、英語で話すことの上達に限界がある。日本語で文章をうまく書けない人が、英

語で上手に文章を書けるようになる可能性は低い。一方、今回の高等学校学習指導要領の改正で、英語教科に「論理・表現」という科目が新設された。プレゼンやディベートを通して、理論の構成や展開を工夫して話す・書くことができることが目標とされる。それより先に、根底でつながる日本語でのこれらの能力を懸念せずにいられない。同時に、そのような理論型の思考が、日本文化に馴染むものかも気がかりである。

模擬授業報告

徳之島高校へ

ジョセフ・トウメイ（教授・応用言語学）

5月の下旬、鹿児島での模擬授業を行ってもらえないかという依頼のメールを貰った。授業のスケジュールを少し変更して1日分の都合をつけられると思ったので引き受けました。実のところ、その時には私はそれが鹿児島のどこなのかあまりよくわかっていませんでしたが、早く起きて、空港へ行き、2コマのクラスを教えて、最終便に乗って戻って来ることができるだろうと思って模擬授業の準備をしました。

徳之島空港に到着し、空港でレンタカーを借りて徳之島高校へ向かいました。私が初めて日本に来た当時、JET program の ALT として高校訪問などをしたことがあったので、そのような経験が懐かしく思い出されました。2コマの模擬授業を行った後、体育館で生徒たちから学園大学についての質問に答えるなど、予定通りに訪問を終えました。

徳之島空港からの帰りの便の時刻にも間に合い、搭乗口で待っていると、あいにくその日は悪天候で帰りの便がキャンセルされてしまったのでした。翌日の便への変更はできましたが「宿泊できる場所はあるのだろうか」と不安に思っていると、空港の職員がホテルのリストをくれました。3軒目に電話をしたホテルには幸い空室があり、空港までバスで迎えに来てもらえることになりました。

予想外の出来事ではありましたが、これもまた自分にとっては懐かしい記憶を呼び起こしてくれる経験で

した。私の父はハワイに生まれ育ったのでハワイを訪れるたびに触れた「島の文化」を感じられたのです。小さな島に住んでいると住民たちは誰もがみんな知り合いで、島特有のマイペースな雰囲気、そしてお互い助け合う暖かさといった雰囲気に、（もちろんそこはハワイではありませんが）懐かしさが込み上げてきました。観光事務所の職員と空港の売店の店員さんとであれこれ会話を交わしながらバスを待ち、バスの運転手もまた顔見知りなので気さくに会話が続くというような具合です。ホテルの食事もおいしくいただき、そこでも徳之島の話色々伺うことができました。

学園には、長崎と鹿児島の離島や沖縄県出身の学生には指定地域減免制度があり、2年間の授業料が半額になります。毎年、何人かの学生がこのような離島から入学して来てくれます。徳之島のように暖かな島の人々の中で育った学生たちがどんどん学園大学にきてくれるといいなと願うと同時に、僕自身もまた休暇を利用して離島を訪れたいと考えています。



書籍紹介

『教育の職業的意義 一若者、学校、社会をつなぐ』 本田由紀 (著)

伊藤 友子 (教授・教育社会学)

若者が職業世界に入っていく場に立ち会う機会の多い高校や大学の教員であれば、人事担当者からの「知識がなくてもコミュニケーション能力さえあれば良い」「素直であれば良い」等の言葉に、違和感を覚えることがあると思います。確かに「学校」は、「人間形成」の機能を重視しますが、長い年限と多くの手間や費用をかけ「知識の体系的社会化」をなす場でもあります。公的大事業ともいえる「学校や大学での教育」を修了し職業社会に踏み出す若者に対するこのような言葉に対し、「教育」に携わっている者としては、どうも納得できない気持ちになるのです。

一方若者たちも、「学校」で自分の職業生活に役立つことを学んでいないという不満をよく口にします。また、職業生活において必要な知識やスキルを身につけていないというこの主張に対し、私たち教育者も説得力のある言葉をあまり発していません。

著者は、このような両者の言葉は、戦後日本社会の「教育の職業的意義」の軽視による、「学校」における職業的能力形成機会の喪失と密接に関係していると、豊富なデータをもとに主張しています。その上で、若者が仕事の世界からの要請に柔軟に<適応>できる手段と、職業世界の圧倒的な力に対し、法律知識や交渉スキル等の適切なすべを通して<抵抗>できる手段を身につけることが可能な「教育の職業的意義」の再構築を主張しています。読み応えのある一冊です。

(ちくま新書、2009年、780円+税)

ゼミ紹介 (専門演習 I)

Christie Provenzano (講師・TESOL/バイリンガリズム)

Bilingualism and biculturalism both in Japan and around the world are the focus of my seminar (園門演習 I). We look at the topic of bilingualism on four different levels: the individual, the family, educational approaches and from the societal level. We explore definitions of bilingualism, approaches to bilingual education, and the cognitive and social effects of bilingualism. We also consider the connection between bilingualism and biculturalism, particularly in the context of Japan, where issues faced by people in international marriages (and their children) are still remarkable. To give students the opportunity to build their own second language

skills, my classes are conducted mostly in English. Students also prepare a major presentation and academic paper in English. However, there is time and space for Japanese, too, because it is important for students to develop their own bilingualism through this one-year course. Finally, I try to give my students the chance to visit a country with a history of bilingualism (for example, Taiwan or Korea) to help broaden their understanding of this important topic and their overall worldview.



英米 海外研修 in ミネソタ 2018

米岡ジュリ (教授)

A small but excellent group of students went to Bethel College in Minnesota on the 英米海外研修 program from August 1-23, 2018. I saw them off at Kumamoto Airport, and when they returned, happy but tired, their luggage seemed to have doubled! During the homestay/study program, they made friends not only with their American families, but

also with their teachers and other students from China and Rikkyo University in Tokyo, who were also participating. During their stay, they enjoyed horseback riding, canoeing, picnics, museum visits, and volunteer activities.



編集人 塩入 すみ (英米学科長)

〒862-8680 熊本市中央区大江 2-5-1

TEL: 096-364-5161 (代表) Mail: shioiri@kumagaku.ac.jp